

滝川市交通安全運動推進協議会会議においていただいた主な意見

【老人クラブ連合会】

- 今回のアンケートの結果を各クラブに配布したい。高齢者は交通事故の被害者になったり、アンケートでは高齢者が自転車のマナーが悪いというのもあったのでそうしたところも話をしたい。

【町内会連合会連絡協議会】

- 自分の住んでいる地域で自転車、特に中学生の元気が良すぎて友達と並走してくる。これが非常にハラハラする場面が多い。中学生・高校生の交通安全教育というものを重点化していく必要がある。

【交通指導員会】

- 毎朝小学校単位の6か所で平日立哨しているが、自転車については、私たちが見る限りではかなり良くなってきていると感じている。

【校長会】

- 小学校では交通安全指導ということで自転車の乗り方や、学校独自に自転車の免許証を発行したり、保護者への啓発など運動している。月1回は登校時の指導もしている。
- 中学校でも自転車の乗り方、そして特に違反や相手に怪我を負わせた場合には懲罰、軽車両犯罪になるというような法的なところの指導もしている。
- 普段の生活の中でも、ということで家庭にも啓發文書を出しているが、下校時の指導というところは部活動等もあって目が届かないところがある。
- 地域の方から学校に連絡いただくなり、その場で指導していただくなり、というところがあるとよりよい指導になると思う。

【滝川西高等学校】

- 自転車のマナーというところではまだまだ指導が必要。市内3校それぞれ警察署や自動車学校と連携しながら交通安全に関わるような教室等を実施している。西高では不定期だが、登下校時の自転車の状況についてどうなのか、保護者も参加いただきながら見回りをしている。
- 昨年度道路交通法が変わったので、そこに対する指導も継続的に実施している。
- 今後も継続して指導していきたいし、各校の指導担当も集まりながら情報共有しているところもある。また、ここで出たことも参考にさせていただいて日常の指導に生かしていきたい。
- 今回の重点課題の3つ目の自転車の安全利用として「自転車の走行空間の確保を積極的に進める」と記載されているが、ぜひこれはお願いしたい。歩行者と自動車の確保はできていると感じるが、自転車が走る空間の確保は遅れていると感じるので、ぜひ積極的に進めていただきたい。

【滝川高等学校】

- 本校でも自転車のマナーは継続的課題。特に登校時。通行量の激しい横断歩道のない校門前の道路を横断しなければならない箇所があり、見ていると危険な状況。登校時の指導は継続して実施しているが、まだまだ継続が必要だと感じる。また、地域の方々からも様々な意見をいただきながら対応しており、今のところ大きな事故には結びついていないが、今後も継続して行っていく。

【商工会議所】

- 交通安全は企業ばかりではなく、家庭や学校や1人ひとりが心掛けなくてはいけないことだが、特に企業として社員に対しての啓発をきちんとやっていくことが必要。地味な活動と思うが、啓発活動をきちんと打っていくということを会議所としても企業に訴えたいということで、市や警察とも話をさせてもらって、この関係（飲酒運転根絶啓発事業）を進めていきたいと考えている。